

NEWS RELEASE

2019 年 2 月 7 日
三菱電機株式会社

CDP「気候変動」「ウォーター」「サプライヤー」で3年連続最高評価を獲得 「CDP サプライヤーエンゲージメントリーダー」に選定

三菱電機株式会社は、国際的な非営利団体 CDP から、「CDP サプライチェーン・プログラム」において最高評価を獲得し、「サプライヤーエンゲージメントリーダー」に選定されましたのでお知らせします。当社は「気候変動」「ウォーター」「サプライヤー」において3年連続で最高評価を獲得しています。



「環境への取り組み」について

三菱電機グループは、「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「生物多様性保全への対応」を柱とする「環境ビジョン 2021」のもと、環境経営基盤の強化を進め、「グローバル環境先進企業」を目指した活動を推進しています。また、「持続可能な開発目標 (SDGs※)」の達成に貢献する 2030 年、2050 年を見据えた長期環境ビジョンの策定を進めています。日本と海外での生産活動をはじめとするバリューチェーン全体の環境負荷低減や、製品・システムの省エネ化や社会インフラの構築を通じて、今後も「持続可能な社会」と「安心・安全・快適性」が両立する豊かな社会の実現に貢献してまいります。

※ : Sustainable Development Goals

CDP について

企業や都市の環境への取り組みを調査・評価・開示する国際 NGO（非営利団体）で、「気候変動」「ウォーター」「森林」に関する「投資家質問票」を企業に送付し、企業から回答を収集、評価します。「サプライヤーエンゲージメント」は、企業が自身のサプライヤーに対する「気候変動」などに関する調査を CDP に委託し、サプライヤー企業の環境への取り組みを評価するものです。